# CiNii 拡張プロジェクト

東京大学山口貴弘



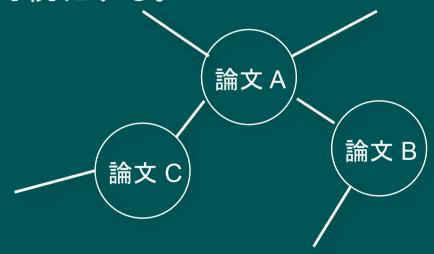
## 新しい検索システム

国会図書館のデジタル化資料検索システムのように 論文を分野別に分類し、検索できるようにする



#### CiNii LOD 化

・CiNii の RDF データを利用して論文同士の関連性を可視化する。



•CiNii 内で構築した RDF データベースを、さらに外部の他のデータベースと接続して LOD の形式で拡張する。

# OpenSearch 活用

wget などを用いて RSS を取得

-4store などの RDF ストレージに格納

```
as distributed, increase funding, and facilitate communication among me
the university, etc.</description>
<dc:date>2012-03</dc:date>
</item>
<item rdf:about="http://ci.nii.ac.jp/naid/40019423601">
<title>CiNiiとLinked Open Data (特集 全国研究集会 専門図書館の今日的課題を問じ
(第2分科会:埋もれている情報を求めて)</title>
k>http://ci.nii.ac.jp/naid/40019423601</link>
<rdfs:seeAlso rdf:resource="http://ci.nii.ac.jp/naid/40019423601.rdf" //
</pre>
dc:creator>大向 一輝</dc:creator>
<dc:publisher>専門図書館協議会</dc:publisher>
prism:publicationName>専門図書館
<prism:issn>0385-0188</prism:issn>
<prism:volume>0</prism:volume>
sm:number>255
<prism:startinaPage>34</prism:startinaPage>
```

## 検索履歴の活用

- •YouTube や、Amazon では、試聴履歴や検索履歴から動画や商品をレコメンドしてくる。メールもしくは何らかのアプリケーションによって、論文の検索履歴から関連する論文をレコメンドする機能を実装する。
- ・検索した時点で見つからなかった種類の論文でも、 新たに出版、登録された場合などのために検索履歴 を再利用して利用者に告知する。
- ・ユーザーが興味のあるテーマを登録しておくと、関連性などを考慮して自動で論文を見つけてきて告知するシステムを実装する。